

NO. 618
平成25年(2013)
8/24(土)



小笠原 —OGASAWARA— 村民だより

編集・発行 小笠原村総務課
〒100-2101
東京都小笠原村父島字西町
TEL 04998 (2) 3111
FAX 04998 (2) 3222

防災特集号

ホームページアドレス
<http://www.vill.ogasawara.tokyo.jp>

9月2日(月)は防災訓練



小笠原村では、9月2日に、南海トラフ巨大地震による津波を想定して訓練を実施します。

訓練に参加して 避難場所 や 避難経路 などを再確認しましょう。

津波が起きたらどうしますか？

《何はなくとも身の安全》

- ◎注意報が出たら海を離れ、警報の時は、とにかく高台へ
- ◎津波は繰り返してやってくるので、警報が解除されるまでは高台にいること！

《沿岸付近の船舶は沖合いに逃げよう》

- ◎海に出る際、職場や家族に無線・携帯電話などの連絡先を伝えていますか？

《興味本位で海岸には絶対に近づかない!》

訓練想定内容(9月2日(月)実施)

※今回の訓練は訓練開始時間を事前にお知らせいたしません。皆様がサイレンが鳴ってから、安全な高台に避難できるまで、どれぐらいの時間が必要か確認してください。

- ・南海トラフを震源とするM9.1の地震発生
- ・防災無線のサイレン放送により大津波警報の情報伝達(情報伝達の際には「訓練」という言葉を入れます)
- ・安全な高台への避難開始
- ・「避難所」開設
- ・「避難指示」発令
- ・各避難所で避難時間の計測
- ・「津波警報」解除
- ・「避難指示」解除
- ・災害対策本部解散

※津波警報が発表されたら、すぐに高台へ避難してください。

※父島保育園裏に遊歩道が整備されました、緊急的な避難路としてもご利用いただけます。

※今回の防災訓練にご参加いただいた皆様には、村の災害備蓄品「保存水・α米」を配布いたしますので、ご家庭でご活用ください。

＜訓練内容＞ 津波の発生を想定しての 避難訓練・避難誘導訓練 を中心に行います。

- 訓練想定 南海トラフを震源とする地震により、大規模な津波が発生し、「90分後に小笠原に津波の第一波が来襲する」という想定で実施します。
- 訓練内容 津波来襲情報の伝達訓練
津波の来襲に伴う避難所への避難および避難誘導訓練
- 避難時間の測定

「津波警報」が発表されてから実際にどれぐらいの時間で避難できるか、各避難所において計測しますので、多くの皆様のご参加をお願いします。また、避難時間をもとに避難するまで何ができるか、ご家庭や職場で話し合しましょう。

●村民の皆様への情報の伝達

上記の「訓練想定内容」に従い、「災害対策本部」から防災行政無線を通じて行います。情報伝達の前には必ず「訓練」という言葉を入れますので、訓練であることを確認してください。また、「避難指示」の際は、サイレンを鳴らしますのでご了承ください。なお、宿泊業の方は、訓練が行われる旨を宿泊客の方に周知していただくようお願いいたします。

- 問合せ先 総務課総務係 2-3111 母島支所庶務係 3-2111

小笠原村では、アルファ米・飲料水・粉ミルク・子供用おむつ等の災害時備蓄品を、現在3日分保存していますが、津波による災害が発生した場合、港湾の状況や内地被災状況により、内地からの救援物資がすぐにとどかないことも考えられますので、各ご家庭でも1週間分の非常食等の備蓄をお願いします。

《あなたの避難場所を確認してください》

津波来襲時の避難先については、以下の場所となります。

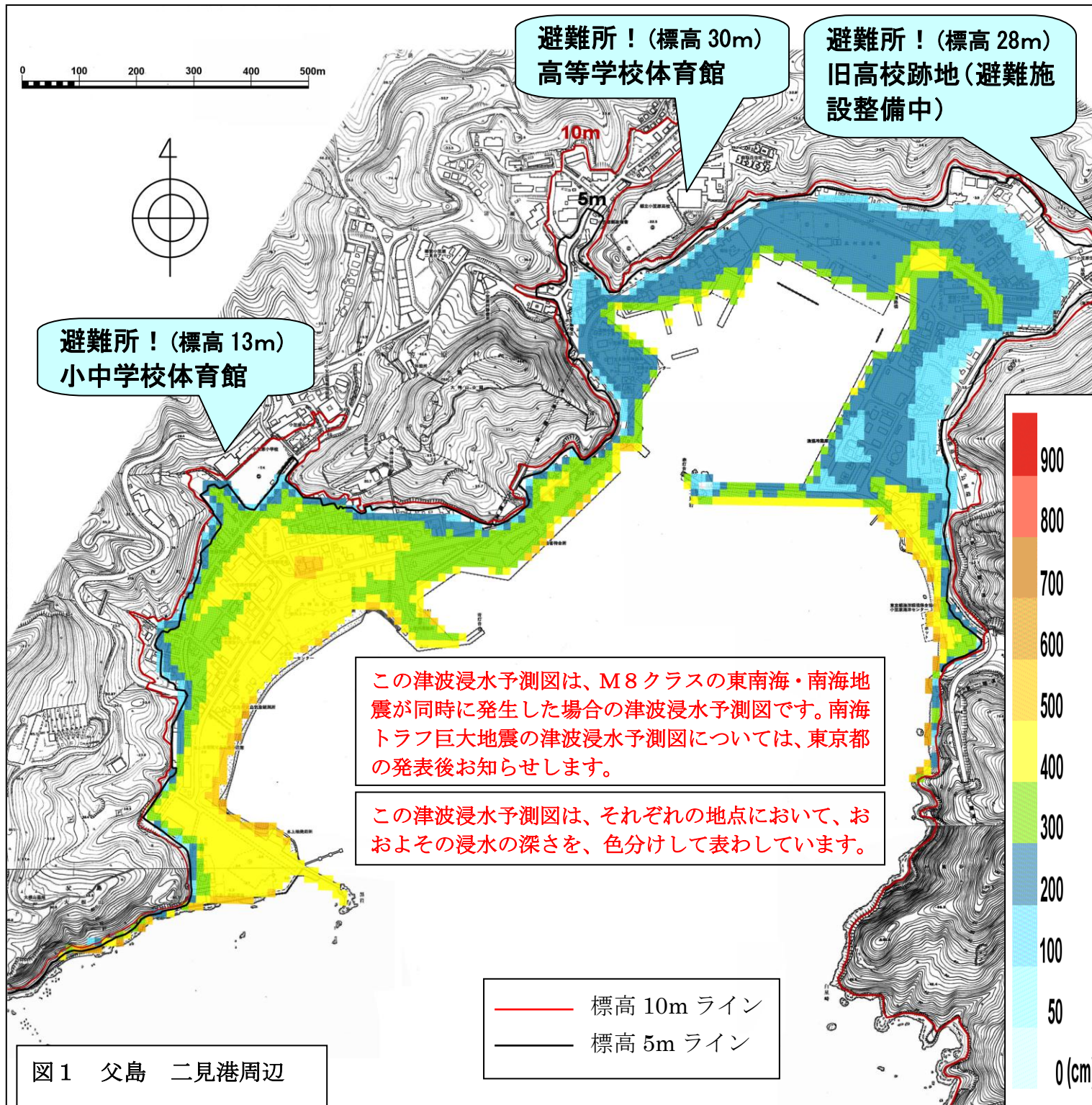
- 父島 西町・東町地区・・・小笠原小中学校(体育館)
- 清瀬地区・・・小笠原高等学校(体育館下ピロティ)
- 奥村地区・・・旧高校跡地(避難施設整備中)
- ※避難施設整備中ですが、避難場所として利用できます。
- 扇浦地区・・・扇浦交流センター
- 母島 元地地区・・・母島診療所

東京都は、南海トラフの巨大地震による被害想定を発表し、各地点の最大津波高は、下図のとおりとしています。東京都では今後、各地点における詳細な浸水予測図の発表を行うこととしています。各地点での詳細な浸水予測図が発表されれば、村民の皆様にも情報をお知らせするとともに、皆様の安全確保のため、対策事業を推進していきます。

	二見港	扇浦	小港	沖港
最大津波高	9.76m	8.37m	12.18m	10.35m
津波到達時間	89分	90分	90分	90分

津波浸水予測図

南海トラフの浸水予測図は発表され次第お知らせします。



東京都は、南海トラフの巨大地震による被害想定を発表し、二見港周辺では、最大津波高は、**9.76m**としています。東京都では今後、各地点における詳細な浸水予測図の発表を行うこととしています。

なお、図1の予測図はM8クラスの東南海・南海地震が**同時に発生**し、小笠原に襲撃する場合の津波を推定したものです。

最大津波：想定（東南海・南海地震）

父島 第1波到達時間：地震発生から およそ92分

図1 二見港周辺 最大水位の到達時間：**184分**

高さ：**7.48m**

※島の地形等から津波の継続時間が長くなり、また第1波よりもその後の津波の方が高くなる恐れがあります。

津波予報の種類

予報の種類	予想される津波の高さ		警報
	数値での発表	巨大地震の場合の表現	
大津波警報	10m超(10m<高さ)	巨大	サイレン
	10m(5m<高さ≤10m)		
	5m(3m<高さ≤5m)		
津波警報	3m(1m<高さ≤3m)	高い	サイレン
津波注意報	1m(20cm≤高さ≤1m)	(表記しない)	なし

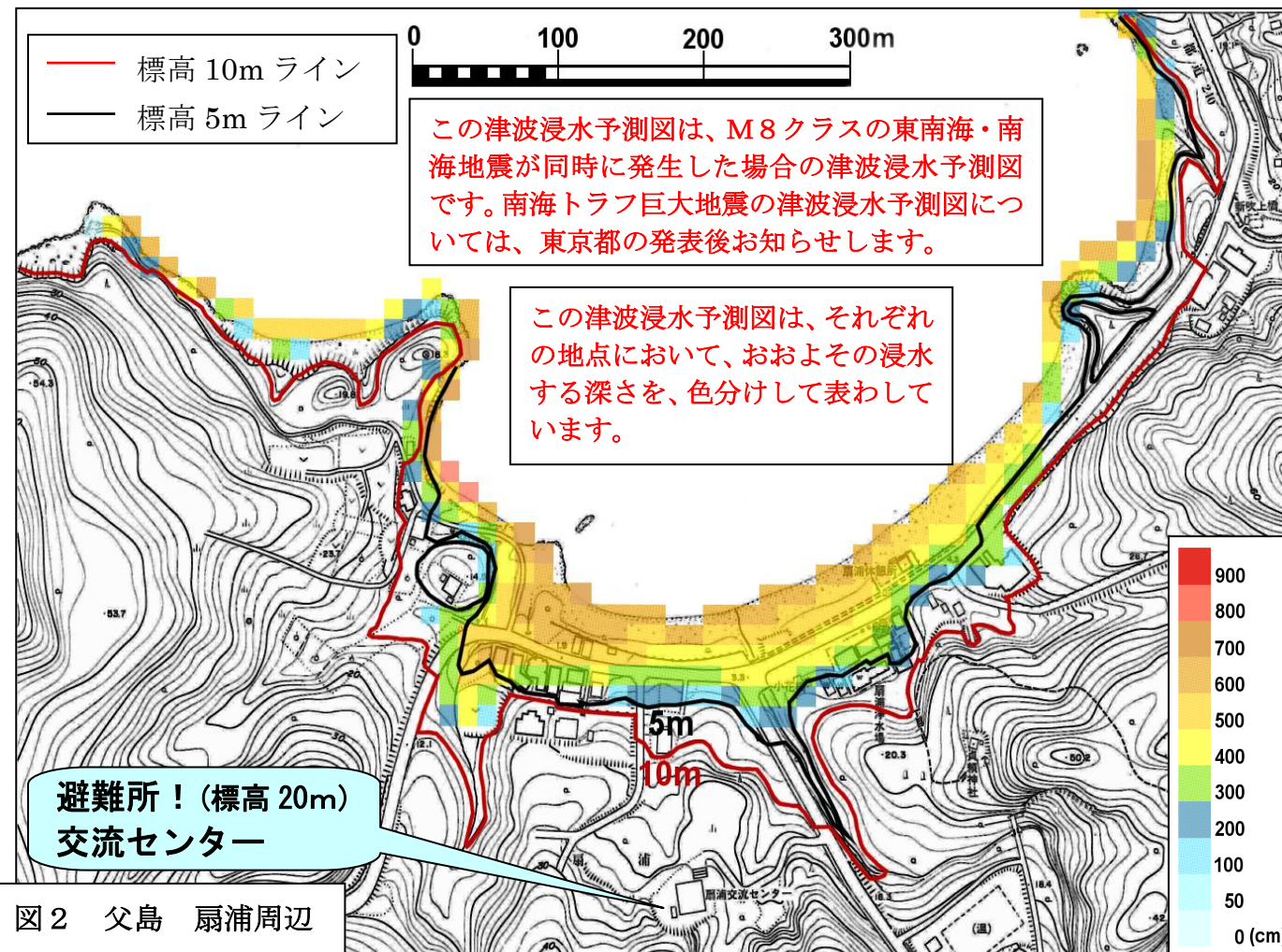
- ・津波注意報(警報)が出たら、すぐ海を離れましょう。
- ・津波警報が出たら、浸水予測地域にいと危険です。とにかく高台へ避難をしましょう。
- ・強い揺れを感じたら、海岸から離れ、とにかく高台へ避難しましょう。
- ・津波は河川を遡るので、川沿いの避難には注意しましょう。
- ・非常用持出品の準備をしておきましょう。
- ・どこに避難するか、避難ルートを確認しておきましょう。

総務課 総務係 2-3111 母島支所 庶務係 3-2111

図1 父島 二見港周辺

津波浸水予測図

南海トラフの浸水予測図は発表され次第お知らせします。



東京都は、南海トラフの巨大地震による被害想定を発表し、扇浦周辺では、最大津波高は、**8.37m**小港周辺では、**12.18m**としています。東京都では今後、各地点における詳細な浸水予測図の発表を行うこととしています。

なお、図2・3の予測図はM8クラスの東南海・南海地震が **同時に発生** し、小笠原に來襲する場合の津波を推定したものです。

最大津波：想定（東南海・南海地震）

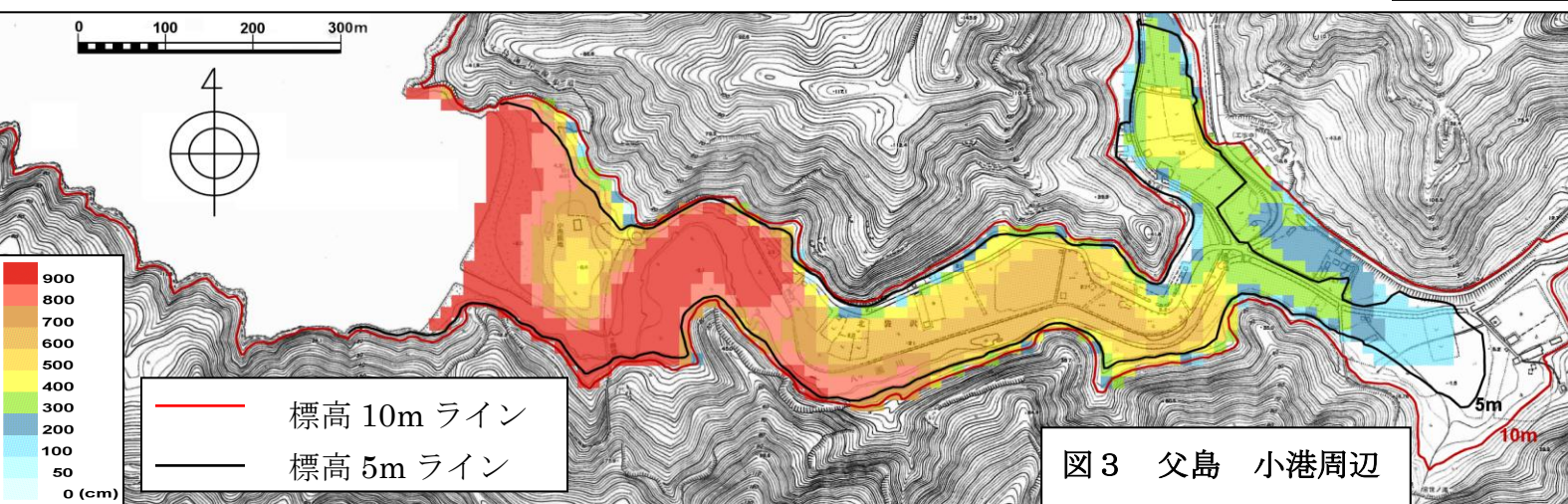
父島 第1波到達時間：地震発生から およそ92分

図2 扇浦周辺 最大水位の到達時間：101分、高さ：6.20m

図3 小港周辺 最大水位の到達時間：220分、高さ：9.93m

※島の地形等から津波の継続時間が長くなり、また第1波よりもその後の津波の方が高くなる恐れがあります。

- ・津波注意報(警報)が出たら、すぐ海を離れましょう。
 - ・津波警報が出たら、浸水予測地域にいると危険です。とにかく高台へ避難しましょう。
 - ・強い揺れを感じたら、海岸から離れ、とにかく高台へ避難しましょう。
 - ・津波は河川を遡るので、川沿いの避難には注意しましょう。
 - ・非常用持出品の準備をしておきましょう。
 - ・どこに避難するか、避難ルートを確認しておきましょう。
- 総務課 総務係 2-3111 母島支所 庶務係 3-2111



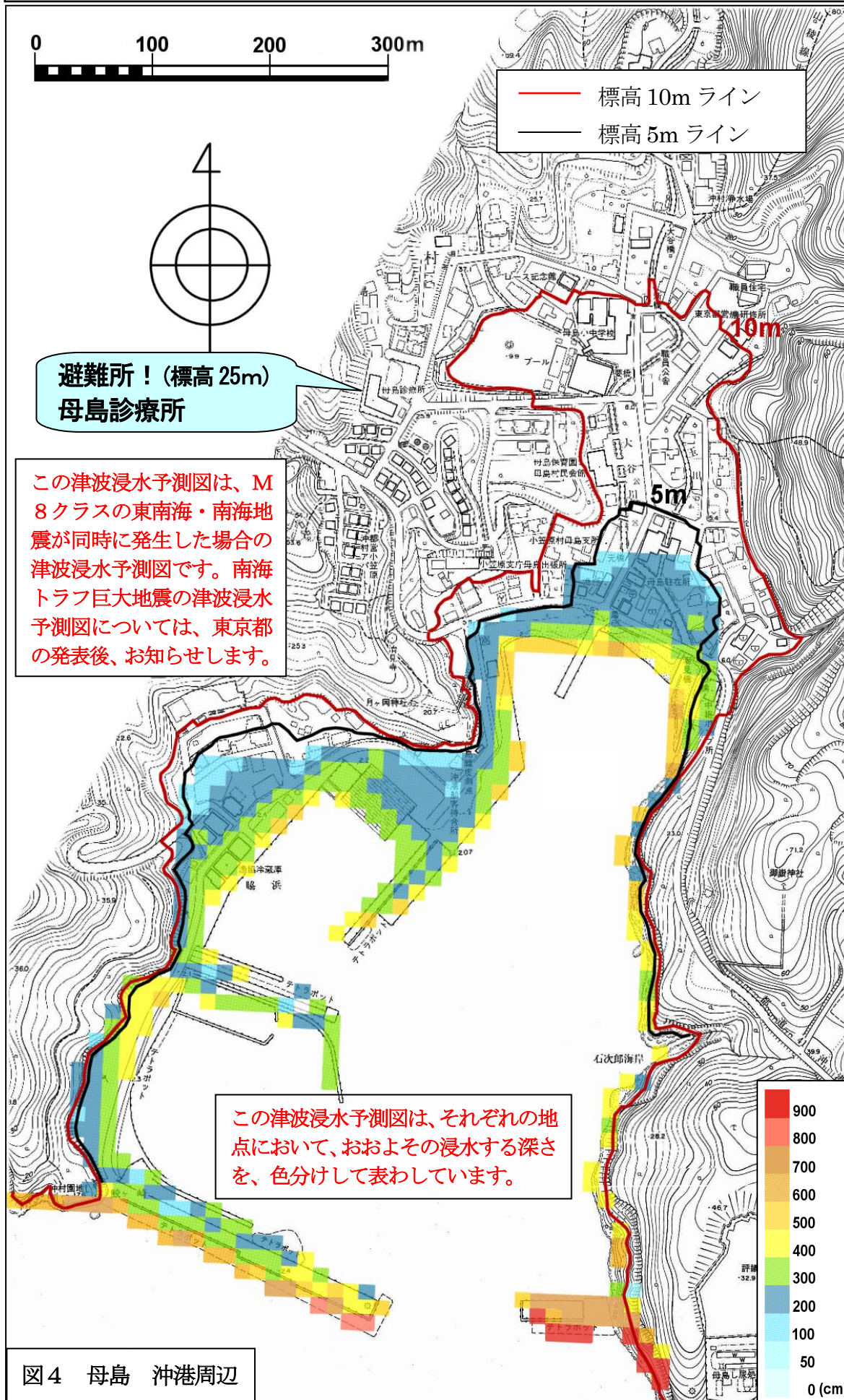
津波予報の種類			
予報の種類	予想される津波の高さ		警報
	数値での発表	巨大地震の場合の表現	
大津波警報	10m超(10m<高さ)	巨大	サイレン
	10m(5m<高さ≤10m)		
	5m(3m<高さ≤5m)		
津波警報	3m(1m<高さ≤3m)	高い	サイレン
津波注意報	1m(20cm≤高さ≤1m)	(表記しない)	なし

津波浸水予測図

南海トラフの浸水予測図は発表され次第お知らせします。

東京都は、南海トラフの巨大地震による被害想定を発表し、沖港周辺では、最大津波高は、**10.35m**としています。東京都では今後、各地点における詳細な浸水予測図の発表を行うこととしています。

なお、図4の予測図はM8クラスの東南海・南海地震が**同時に発生**し、小笠原に來襲する場合の津波を推定したものです。



最大津波：想定（東南海・南海地震）

母島 第1波到達時間：地震発生から およそ94分

図4 沖港周辺 最大水位の到達時間：**243分**、高さ：**5.36m**

※島の地形等から津波の継続時間が長くなり、また第1波よりもその後の津波の方が高くなる恐れがあります。

津波予報の種類

予報の種類	予想される津波の高さ		警報
	数値での発表	巨大地震の場合の表現	
大津波警報	10m超 (10m<高さ)	巨大	サイレン
	10m (5m<高さ≤10m)		
	5m (3m<高さ≤5m)		
津波警報	3m (1m<高さ≤3m)	高い	サイレン
津波注意報	1m (20cm≤高さ≤1m)	(表記しない)	なし

- ・津波注意報(警報)が出たら、すぐ海を離れましょう。
- ・津波警報が出たら、浸水予測地域にいると危険です。とにかく高台へ避難しましょう。
- ・強い揺れを感じたら、海岸から離れ、とにかく高台へ避難しましょう。
- ・津波は河川を遡るので、川沿いの避難には注意しましょう。
- ・非常用持出品の準備をしておきましょう。
- ・どこに避難するか、避難ルートを確認しておきましょう。

総務課 総務係 2-3111
母島支所 庶務係 3-2111

図4 母島 沖港周辺